

エネルギー起源CO₂排出量の部門別増減要因分析のまとめ(2004→2009年度)

参考資料 1

(単位:万tCO₂)

部門	活動量要因		原単位要因			気候要因	増減量合計
	活動量指標	増減量	(うち電力以外のCO ₂ 排出原単位)	(うち電力のCO ₂ 排出原単位)	(うちエネルギー消費原単位)		
家庭	世帯数	+1010 -1340	-40	-380	-920	-260	-590
業務その他	業務床面積	+1230 -2640	-60	-440	-2140	-260	-1670
産業	鉱工業生産指数等	-5770 -1930	-80	-90	-1760	-	-7710
運輸	旅客	輸送量 (-360)	+20 (-)	-20	-1140 (-1100)	-	-1650 (-1460)
	貨物	輸送量 (+230)	-0 (-)	-0	-540 (-1390)	-	-1310 (-1170)
エネルギー転換	2次エネルギー生産量	-530	+1130	+1130	-	-	+600
エネルギー起源CO ₂ 合計	-	-5310	-6490	+960	-940	-520	-12310

世帯数の増加

省エネ活動及び省エネ機器の普及等

業務床面積の増加

工場等での省エネ活動及び機械等の効率改善等

生産量の低下

輸送需要の落ち込み

燃費の改善等

輸送効率の改善等

燃料構成の変化及び発電効率の向上

注: 吹き出しは増減に影響したと考えられる主な要因, 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある

運輸のかっこ内は自家用乗用車のみの数字

エネルギー起源CO₂排出量の部門別増減要因分析のまとめ(1990→2009年度)

(単位:万tCO₂)

部門		活動量要因		原単位要因			気候要因	増減量合計	
		活動量指標	増減量	(うち電力以外のCO ₂ 排出原単位)	(うち電力のCO ₂ 排出原単位)	(うちエネルギー消費原単位)			
家庭		世帯数	+3840 世帯数の増加	-190	-100	-380	+290	-220	+3420
業務その他		業務床面積	+6860 業務床面積の増加	-1490	-110	-480	-900	-230	+5120
産業		鉱工業生産指数等	-7960 生産量の低下	-1430	-2270	-130	+970	-	-9390
運輸	旅客	輸送量	+650 (+4230)	+2440 (-1340)	-20 (-510)	-20	+2480 (-830)	-	+3090 (+2890)
	貨物	輸送量	-280 (+1980)	-1550 (-3610)	+10 (+0)	+0	-1560 (-3610)	-	-1830 (-1620)
エネルギー転換		2次エネルギー生産量	+380	+830	+830	-	-	-	+1210
エネルギー起源CO ₂ 合計		-	+3460	-1390	-1660	-1010	+1280	-450	+1620

注: 吹き出しは増減に影響したと考えられる主な要因, 四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある

運輸のかっこ内は自家用乗用車のみの数字